

大豆単収の 向上に関する シンポジウム

大豆を増収するための 品種・技術とは

食料・農業・農村基本計画では、大豆の令和12年度の生産努力目標を34万トンと掲げている。その目標達成のためには、作付面積の増加の他、単収の増加も重要である。そこで、新たに開発された大豆極多収品種の紹介をするとともに、全国豆類経営改善共励会で農林水産大臣賞を受賞し、優れた大豆経営を行っている農業者及び大豆栽培技術の専門家を通して栽培技術の秘訣を明らかにすることで、大豆増産の気運を高めていくためのシンポジウムを開催する。

参加費
無料

令和6年
2月2日(金)
13:00~17:30

主催

農林水産省

協力



公益社団法人 大日本農会

開催場所

農林水産省 7階講堂

対象者

農業者、農業者団体、市町村、
都道府県、研究機関、報道機関

定員

100名 (先着順)

第1部 大豆極多収新品种 13:00~14:30

- 講演
- ① 大豆をめぐる事情 ■ 農林水産省穀物課
 - ② 大豆極多収品種の開発と普及について ■ 農研機構作物研究部門
 - ③ 大豆極多収品種の栽培状況について ■ ネットワーク大津株式会社
 - ④ 大豆極多収品種の利用について ■ 株式会社おとうふ工房いしかわ
 - ⑤ 大豆極多収品種の普及可能性について ■ 全国農業協同組合連合会

第2部 大豆増収のための技術・秘訣 15:00~17:30

- 講演
- ⑥ 大豆の多収阻害要因について ■ 公益社団法人大日本農会
 - ⑦ 大豆栽培の最新技術について ■ 農研機構中日本農業研究センター

大豆の単収を向上するための栽培技術ポイント

【司会】

全国豆類経営改善共励会審査委員長 東北大学名誉教授 國分牧衛氏

【パネリスト】

- パネルディスカッション
- ・ 安田大樹氏 ■ 第51回(令和4年度)受賞/長野県
 - ・ 野呂修聖氏 ■ 第50回(令和3年度)受賞/青森県
 - ・ 農事組合法人ふくどみ ■ 高橋智和氏 ■ 第50回(令和3年度)受賞/島根県
 - ・ アグリード株式会社 ■ 安藤重治氏 ■ 第48回(令和元年度)受賞/岐阜県
 - ・ 栄北部株式会社 ■ 岩坂省三氏 ■ 第47回(平成30年度)受賞/新潟県
 - ・ ネットワーク大津株式会社 ■ 徳永浩二氏 ■ 極多収大豆試験栽培/熊本県

【補助者】

- ・ 農研機構作物研究部門 ■ 所長 石本政男氏
- ・ 中日本農業研究センター作物生産システムグループ ■ グループ長 大野智史氏
- ・ 株式会社おとうふ工房いしかわ ■ 代表取締役 石川伸氏
- ・ 全国農業協同組合連合会 ■ 麦類農産部長 石澤孝和氏
- ・ 公益社団法人大日本農会 ■ 会長 吉田岳志氏
- ・ 農林水産省穀物課 ■ 課長 佐藤夏人